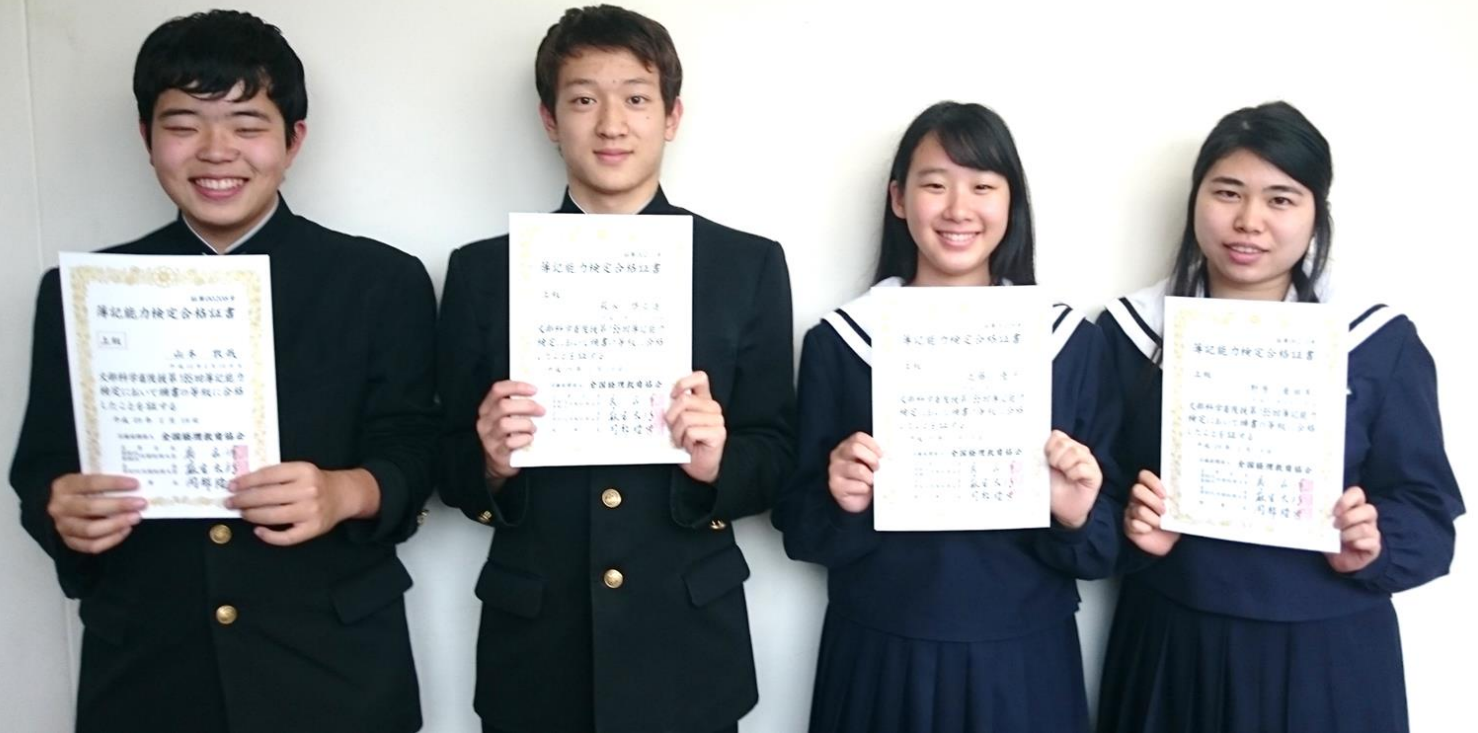


全経簿記検定 上級 4名合格



平成29年 2月19日に実施されました第185回全国経理教育協会主催簿記検定上級（以降「全経上級」）に、本校会計科の生徒4名が合格しました。全経上級は大学卒業レベルの会計知識が必要であり、公認会計士や税理士といった会計国家資格の登竜門と位置付けられる資格です。合格者には税理士の受験資格が与えられます。4名のうち3名は簿記部、1名は水泳部に所属しています。萩永啓之進君は岐阜県商業教育研究会が主催する「岐阜県日商簿記1級プロジェクト」に参加し、月に1度公認会計士による直接指導を受けて合格を勝ち取ることが出来ました。以下、合格者の喜びの声

萩永啓之進君（上石津中学校・水泳部）

初めての全経上級の受験で合格することができ、とても嬉しいです。私は日商1級プロジェクトに参加し、学校以外でも多くの方に支えて頂きました。恵まれた環境を作ってくくださった方々に感謝しております。今回その感謝の思いを合格という形で伝えられて本当によかったです。次は日商簿記1級があります。また気を引き締めて一日、一日を大切に努力します。

山本敦哉君（上石津中学校・簿記部）

まず、全経上級に合格できたことをうれしく思います。私は今回で3回目の受験となりました。1回目は惜しいところまでいきました。しかし2回目は1回目よりも点数が下がってしまい悔しい思いをしました。そのため、今回は絶対に合格しようと部活の時間や自宅での空いた時間を全て勉強に費やしました。その結果、三度目の正直で合格することができました。合格できたことで自分の進路の幅を広げられたと思います。次は日商簿記1級合格に向かって、地道に勉強をし最後まで諦めずにやりきりたいと思います。

近藤優子さん（巢南中学校・簿記部）

私は今回で全経上級を受験するのは3回目です。そのため絶対に合格しようという気持ちを持って検定試験に挑みました。学校で問題を解いて分からないところがあったら先輩や友達に聞いたり、家に帰ってから自分で苦手なところを復習しました。「合格した」と聞いた時本当に嬉しかったです。また、支えてくださった先生や家族に感謝したいです。この検定取得のために頑張った経験を忘れず、今後に生かしていきたいです。

野原亜裕実さん（揖斐川中学校・簿記部）

今回の試験に挑むにあたり、答案練習で分からなかった問題の仕訳や処理方法などの直しをする時に様々な工夫をしました。例えば、色ペンなどを使って目立たせることで覚えやすくしました。また、ただ仕訳を書くだけでなく、図や注意すべき事項、他の方法ではどうするかなど細かく直しノートにまとめました。そうすることで応用力が身に付き、出題形式の異なる様々な問題にも対応できるようになりました。また、過去問題集を使い反復練習をして絶対に合格できるように努力しました。今後は、公認会計士を目指し、日商1級に合格できるように簿記の勉強を続けていきます。